

事故防止を祈って

交通安全タヌキづくり

和納三区の本田ツイさんは、交通安全に対する意識を高める手だてとして、手づくりの交通安全タヌキをつくり、保育園や学校に贈って喜ばれています。

「タヌキは魔よけとしても知られているし、一体つくるといいです。この包装紙は岩室の重乃屋さんが無償に提供してくれました。希望があればつくり方をおしえますよ」と話します。



このタヌキをみて、少しでも交通安全について考えてもらえれば、それでいいです——と話す本田さん

もっと点字に関心をもって!

はるばる青森からキャンペーンに



「目の不自由な人たちのために、もっと点字に関心をもってほしい」という願いをもって、全国キャンペーンを続けている日本点字普及クラブの真野博行さんが去る六月五日、ヒョッコリ、役場を訪れました。

真野さん自身も目が不自由なため付添の青年と徒歩で各地を巡っているというのです。

村としても広報の点訳や録音などをボランティアでおねがいしているんですよ、健康に気をつけて、がんばってください」と村長の激励を受けました。

▲村長と懇談する 真野さん

和納三区の本田ツイさんは、交通安全に対する意識を高める手だてとして、手づくりの交通安全タヌキをつくり、保育園や学校に贈って喜ばれています。

新成人おめでとう 式典は8月です

期 日 8月15日
場 所 公民館



村では、新成人を迎えられたみなさんをお祝いし、激励するため成人式の準備を進めています。今年の記念講演は、新成人を祝福するにふさわしい内容にしたいと考えています。

該当される新成人のみなさんには、それぞれご案内いたします。どうぞ、おそろいでご出席ください。

なお、村外へ転出されている方で、村の成人式に出席を希望されれば参加できますので、ご家族のみなさんは連絡するなどして、本人の希望を確認したら、名簿作成などの都合もありますので、早目に公民館(二四四四四)まで申し込みください。

新成人のみなさんは、次の方々です紹介します。

- ▲金池 ▲上村真理子、高倉正三
- ▲石瀬 ▲清水智子、鈴木俊子、渡辺美佐子、渡辺奈々子、棚橋 栄、鈴木文恵、田中隆司、渡辺栄子、渡辺洋一、三富徳夫、田中茂敏、本間美和子
- ▲岩室 ▲後藤利彦、佐藤有子、鷺沢浩美、佐藤純子、皆川浩之、村井智子、穴沢雅行、石坂洋子
- ▲種 曾 ▲本間 仁、三富文子、渡辺敏子、本間吉幸、寺沢恵美子、本間 悟、本間 徹、本間義浩
- ▲栄 ▲本間昌子
- ▲橋本 ▲後藤香代子、阿部亮子
- ▲久保田 ▲石川宏司、小池和浩、星野幸子
- ▲藤ヶ瀬 ▲該当者なし
- ▲南谷内 ▲該当者なし
- ▲北野 ▲山岸 啓、山岸正夫、堀越京子
- ▲夏井 ▲福里和男、田中勝正、皆川百合子、阿部孝幸
- ▲西 中 ▲宮島武夫、宮島浩明、山田富士子、伊柳貴幸
- ▲潟上 ▲齋藤昭子
- ▲白鳥 ▲該当者なし
- ▲西長島 ▲池田一秋、田原幸栄、藤田志津子
- ▲横曾根 ▲富沢ひとみ、菅井弘行、成田友子
- ▲西船越 ▲小川裕美子、大森 宏
- ▲新谷 ▲伊藤春行、内山一男、堀井博美
- ▲油島 ▲該当者なし
- ▲高畑 ▲網島秀則
- ▲和納一区 ▲鶴巻和人、山内さゆり、小林純子、高橋 進、安川直希
- ▲和納二区 ▲沖野一栄、武田幸治、大平 勉、幸田幸雄
- ▲和納三区 ▲西村 渉、該当者なし
- ▲和納四区 ▲池上吉秀、田中千春
- ▲和納六区 ▲伊藤整子、竹内一男、山上正浩
- ▲和納七区 ▲本間多美子
- ▲和納八区 ▲瀬戸川 晃、中原徳子、佐藤徳子
- ▲和納九区 ▲古沢文男、安東俊幸
- ▲和納十区 ▲該当者なし
- ▲和納十一区 ▲幸村満久、土井川芳恵
- ▲和納十二区 ▲該当者なし
- ▲原 ▲大岩 薫
- ▲津雲田 ▲本多純子
- ▲富岡 ▲長沼 稔
- ▲高橋 ▲大関 修、加藤秀夫、土田 佐
- ▲間瀬一区 ▲五十嵐あゆ子、田中貴子
- ▲間瀬二区 ▲該当者なし
- ▲間瀬三区 ▲田中静枝
- ▲間瀬四区 ▲早川伸子
- ▲間瀬五区 ▲該当者なし
- ▲間瀬六区 ▲該当者なし
- ▲間瀬七区 ▲該当者なし

青少年を非行から

まもる強調月間

次代を担う青少年を健全に育成し非行から守るために七月の一ヶ月間、「青少年を非行からまもる全国強調月間」が実施されています。

近年、青少年の非行は著しく増加し、内容的にも非行の低年齢化、一般化の傾向が進み憂慮すべき状況にあります。

期間中は次の点が重点目標となっておりますが、家庭内で親子の対話をもつなどして、青少年を見守っていただきたいものです。

(1) 村民の非行防止意識の高揚
(2) 青少年の非行化防止
(3) 青少年を取り巻く社会環境の浄化

子どもの水遊びに

「」注意

子供は、水遊びが大好きです。その反面、水の怖さを知りません。そのため、親がちよと目を離したスキに、とりかえしのつかない悲しい事故に結びつくことが多いのです。

子供の水の事故は保護者の責任——と心得て、ふだんから子供によく注意し、水の事故から尊い生命を守るため、危険な水辺で遊んでいるのを見かけたら一声かけるなど地域ぐるみで見守りたいものです。

ムラノワダイ

村の話題

むらのわだい

西中の おとしより

イキなアイデア、汗で実行 道路の安全地帯を花だんに



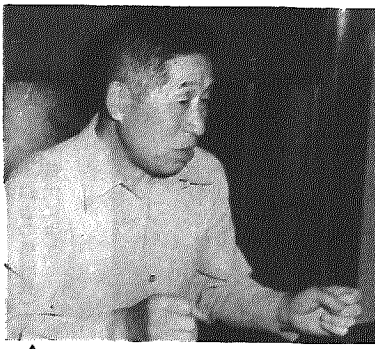
車を運転する人や、道行く人たちの心をなごませ、それが少しでも交通安全に役立てばというヒントから西中のおばあちゃんたちが集って、西中地区に設けられている、通行分離帯に草花を植え、花だんづくり奉仕をし、日をきめて手入れを続けています。

道路に花が咲いているなんて、本当に気持ちがいいですね、感謝しています——と運転者にも好評のようです。

ありがとう、西中のおばあちゃんたち

アッ、おばあちゃんが落ちた

大越幸栄(和納七区)さんの機転で助かる



和納四区のあるおばあちゃん(八十三才)が通院のため、手押し車で歩行中、折からの強風にあおられて、用水に転落、たまたま、そばを通りかかった大越幸栄さんがとっさの判断で助け病院に収容してくれました。用水は水深六十センチ位で、発見が遅れば大変なことになるところでした。

「イヤ、当然のことですよ——と巻警察署からの表彰状を手につくんとする大越さんでした。大事に至らず、本当によかったですわ。」

▲「無事で本当によかった、それだけですよ」と大越さん